

[Windows 11 25H2 の配信が開始された]

2025年10月25日 河出 修

「はじめに」

長年使用されてきた「Windows 10」が「2025/10/14」でサポートが終了しました。(1年間のセキュリティサポートあり)
「2025/9/30」に「Windows 11」秋の大型更新「25H2」の配信が開始された。「Windows 11 25H2」へスムーズに移行する方法と「Windows 11の最小要件を満たさないPC」のバージョンアップ(自己責任)についても解説します。
また、「Lineアプリ」の古いバージョンのサポート期限についても解説します。

I. Windowsのサポート期限(個人向け)

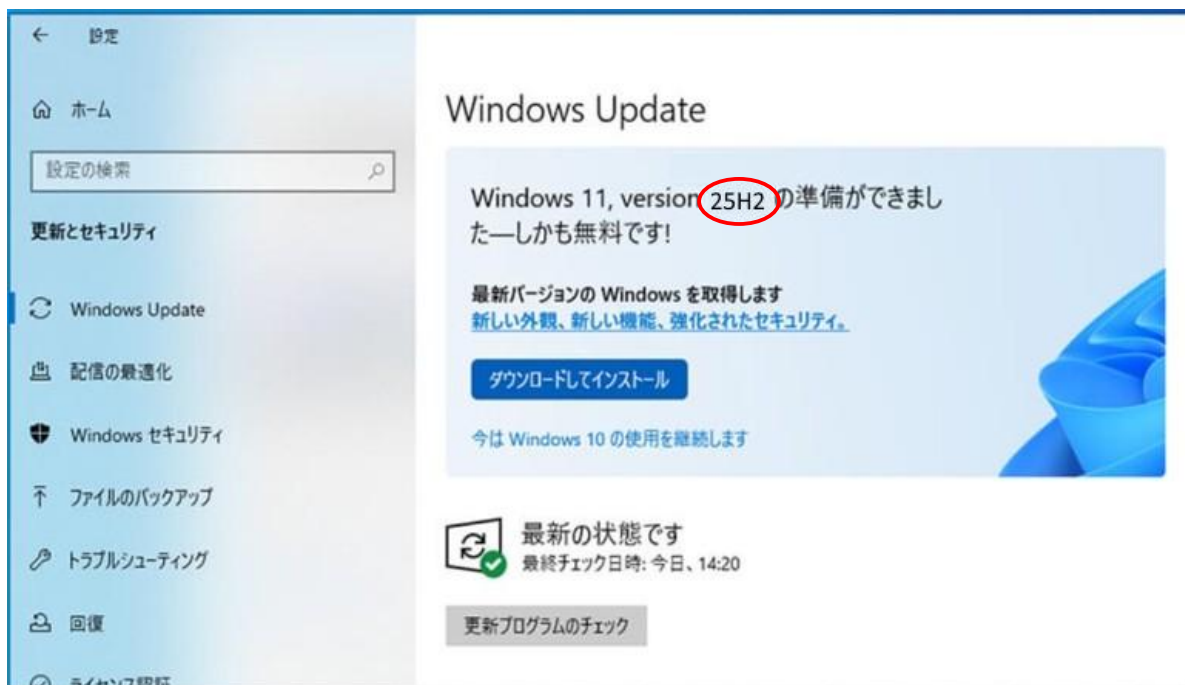
Windows の種類	バージョン	サポート期限	備考
Windows 10 Home、Pro	22H2	2025/10/14	サポート終了
Windows 11 Home、Pro	22H2	2024/10/8	サポート終了
Windows 11 Home、Pro	23H2	2025/11/11	
Windows 11 Home、Pro	24H2	2026/10/13	
Windows 11 Home、Pro	25H2	2027/10/12	9/30配信開始

●1年間のセキュリティサポートあり

II. Windows 11 25H2 に更新する方法

1. 「Windows Update 経由でアップグレード」(Windows11の最小要件を満たしている場合)

- (1) スタートメニュー → 「設定」
- (2) 「更新とセキュリティ」 → 「Windows Update」
- (3) 「Windows 11へのアップグレードの準備ができました」が表示されたら「ダウンロードしてインストール」をクリック
- (4) 画面の案内に従って進める



2. 「インストールアシスタントを使う」(手動アップグレード)

- ★Windows Updateでアップグレードが表示されない場合、Windows 11インストールアシスタントを利用できます。
公式サイトを表示する → <https://www.microsoft.com/ja-jp/software-download/windows11>
- (1) 「今すぐダウンロード」ボタンを押す。
 - (2) ダウンロードした「Windows11InstallationAssistant.exe」を開く。
 - (3) 実行して画面の指示に従って「Windows11 25H2」にアップグレードする。

3. 「クリーンインストール」(USBからインストールする方法)

- ★新規インストールをしたい場合はインストールメディアを作成して「クリーンインストール」が可能です。
「インストールアシスタント」の公式サイトの続きに「Windows 11 のインストール メディアを作成する」が記載されている。

(1)「インストールメディア」の作成手順

「今すぐダウンロード」ボタンを押す→「適用されるライセンス条項」には「同意する」を押す→
「言語とエディション」の選択には、「言語＝日本語、エディション＝Windows 11」を確認し、「次へ」を押す→
「USBフラッシュドライブ」にチェックし、「次へ」を押す（USBは少なくとも8GB必要）→
「USBフラッシュドライブ」を選んでくださいでは、ドライブ記号(D:、E:、等)を確認し、「次へ」を押す→
「Windows 11をダウンロードしています」→「Windows 11を検証しています」→
「Windows 11のメディアを作成しています」→「USBフラッシュドライブの準備ができました」で「完了」を押す。
「インストール用USBの内容」

名前	更新日時	種類	サイズ
boot	2025/10/07 15:00	ファイル フォルダー	
efi	2025/10/07 15:00	ファイル フォルダー	
sources	2025/10/07 15:00	ファイル フォルダー	
support	2025/10/07 15:02	ファイル フォルダー	
__chunk_data	2025/09/16 5:50	ファイル	231 KB
autorun.inf	2025/09/16 5:50	セットアップ情報	1 KB
bootmgr	2025/09/16 5:50	ファイル	463 KB
bootmgr.efi	2025/09/16 5:50	EFI ファイル	2,771 KB
setup.exe	2025/09/16 5:50	アプリケーション	98 KB

(2)「インストール用USB」からインストールする方法

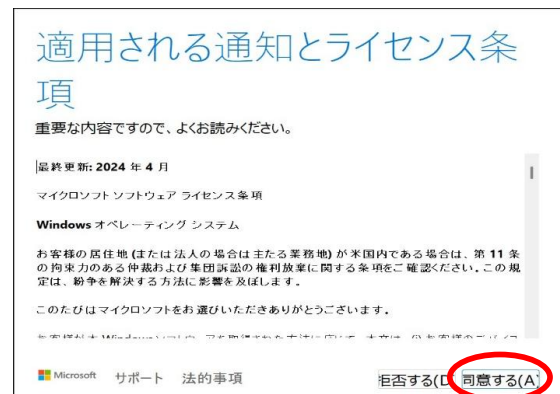
- ①コマンドプロンプト(管理者として実行)を起動する
・検索欄に「cmd」と入力し、「管理者として実行」を選択する。→画面が変わったら、「はい」を押す。
- ②インストール用USBのドライブ名を入力する。「d:」
- ③次のコマンドを入力する。「setup /product server」



- ・「D:¥」が表示されたら、USBからバージョンアップの情報を読み込むようになる。
- ・「Windows Server のインストール」と表示されるが「Windows 11」のインストールです。



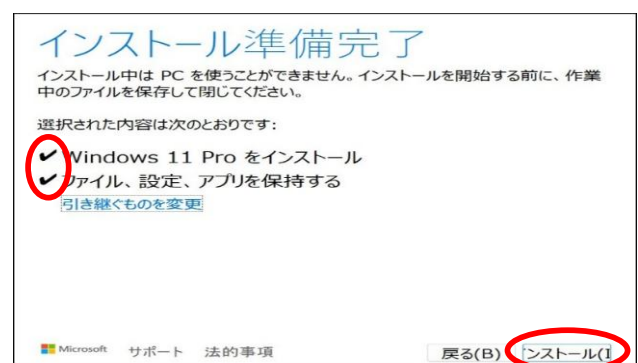
チェックを外す。 「次へ」



「同意する」



- 「ファイル、設定、アプリ」を保持するにチェックし「次へ」を押す



- 「ファイル、設定、アプリを保持する」に☑を確認し「インストール」を押す

- ④「Windows 11」のインストールが始まる。
インストール中に再起動が何回か起こるが、何もしないで待つこと。
- ⑤「Windows 11」のインストールが終わると、Windows 11のデスクトップ画面が表示される。
インストール時間は40分～60分かかる。
- ⑥バージョン情報の確認
- 「スタートメニュー」を開く
 - 「設定」を選択
 - 「システム」を選択
 - 「バージョン情報」を確認



- ★この方法は ①「Windows 10」から「Windows 11 25H2」にバージョンアップする。
②「Windows 11 の23H2、24H2」から「Windows 11 25H2」にバージョンアップする。の両方に使える
- ★「Windows 11」の「最小要件を満たさないPC」に使う場合は自己責任になる。
(Microsoft社のサポートが受けられない)

4. 「Windows 11 25H2」の特長

- セキュリティ強化 : 最新の脅威に対応
- AI機能の拡張 : Copilot の強化で作業効率アップ



- ・「Edge」から起動する Copilot の機能が左図のように追加された。

- パフォーマンス改善 : 起動やアプリ動作がよりスムーズになる
- UI改善 : 設定画面が整理され、初心者でも操作しやすい

★上記の改善が期待されているが、現在の「Windows 11 25H2」は「AI関係」以外は画面が「24H2」と殆ど変わらない。
徐々に機能アップされると思いますが、「25H2」へのバージョンアップは、急がなくてもよいと思います。

Ⅲ. 「Lineアプリのサポート期限」について

項 目		バージョン	サポート期限
古いLineアプリ		13.20.0以下	2025/11/4
古いスマホOS	Android	7.1.2以下	2025/11/4
	iPhone	14.8.1以下	2025/11/4

- 「古いLineアプリ」や「古いスマホOS」のサポートが「2025/11/4」で終了します

1. 今すぐできる対策

- (1) LINEアプリを最新版にアップデート(App Store/Google Playで確認)
- (2) OSを最新にアップデート(iOS 17以上/Android 11以上が推奨)
- (3) トーク履歴のバックアップ(iCloudやGoogleドライブへ)
- (4) 引き継ぎ情報の確認(メールアドレス、電話番号、パスワードなど)

2. LINEのバージョンを調べる方法

- (1) スマートフォンの場合
 - ・LINEアプリを開く。
 - ・下の「ホーム」タブをタップ。
 - ・右上の歯車アイコン(設定)をタップ。
 - ・白番下にある「LINEについて」を選択。
 - ・「現在のバージョン」に表示されている数字が、今使っているLINEのバージョンです。
- (2) パソコン(Windows/Mac)の場合
 - ・LINEアプリを起動。
 - ・画面左下の「…」をクリック。
 - ・「LINE情報」を選択。表示された画面にバージョンが書いてある。